

令和6年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

| | | | |
|------------------|--|----------|--|
| 実習タイトル | 国際公開臨海実習 III | | |
| 実習内容 | <p>基礎的な海洋生物学・生態学を既習した学生を対象に、先進的な内容を課題とした発展的かつ分野統合的な実習を国内外の学生が共同で行う。寒流生態系に特徴的な海洋生物を対象として、群集生態学、生物海洋学、保全生物学など異なる分野にわたる課題に取り組むことにより、海洋生物学・生態学の最先端の知識を身につけると共に、問題解決型の研究課題への取り組み方を習得する。本コースでは北海道東部の海洋生態系、特に沿岸域の漂流生態系とプランクトン群集に焦点を当て、その基礎的な生物学・生態学から、近年深刻になっている人間活動由来の環境変動がその生態系機能に与える影響について理解を深める。その結果を踏まえて海洋生態系の諸問題の解析方法および解決方法に関する議論を参加者同士で行い、海洋生態系の成り立ちや人間活動の影響に関する課題について理解を深める。（この実習は英語で行う、日本語によるサポートあり）</p> <p>①植物プランクトンと水質の観測とその関係の解析、②陸域からの物質流入が海洋生態系に与える影響の評価、③海洋哺乳類が生態系および水産業に与える影響の解析と議論、④グループでの課題研究・成果報告</p> | | |
| 実習内容キーワード | 沿岸生態系、生物群集、生物多様性、寒流域、野外調査解析 | | |
| 担当教員氏名・所属・役職名 | 仲岡雅裕・北方生物圏フィールド科学センター・教授 伊佐田智規・北方生物圏フィールド科学センター・准教授 鈴木一平・北方生物圏フィールド科学センター・特任助教 | | |
| 協力教員氏名・所属・役職名 | Po Teen Lim・University of Malaya・Associate Professor | | |
| 対象学生・学年 | 学部 3～4 年生、 および大学院生 | 開講期間 | 7 月 31 日(水)～8 月 4 日(日) (31 日夕方集合、4 日午前解散) |
| 開講大学・施設名 | 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所 | | |
| 施設の住所 | 〒088-1113 北海道厚岸郡厚岸町愛冠 1 番地 | | |
| 電話 | 0153-52-2056 | F a x | 0153-52-2042 |
| e-mail | nakaoka@fsc.hokudai.ac.jp | Web Site | http://www.fsc.hokudai.ac.jp/akkeshi/ |
| 交通案内 | 釧路空港から空港連絡バスで約 45 分、JR 釧路駅下車。釧路駅から JR で厚岸駅まで約 50 分、駅からタクシーで臨海実験所まで 17 分約 2,000 円。JR 厚岸駅からバス（本数少ない）では 15 分「国泰寺」下車、実験所まで徒歩 25 分。札幌（新千歳空港）からは JR で釧路駅まで特急で約 4 時間、高速バスで約 5 時間。 | | |
| 費用 | 宿泊費と食費 3 食分、その他雑費を含めて合計約 10,000 円。 | | |
| 授業科目名 | 特別実習（国際公開臨海コースⅢ） | | |
| 単位数 | 1 | 定員数 | 8 |
| 授業料の徴収について | 国立大学および協定のある公立私立大学の学生は所定の書式による申請により授業料は不徴収とする。 | | |
| 受講生選抜基準と申し込み締め切り | 定員を超えた場合は書類選考を行う。申込〆切は実習開始日の 2 か月前。定員に満たない場合は追加募集を行う（実習開始日の 1 か月前まで）。また、定員に余裕がある場合は、学部 1、2 年生の受講も受け付ける。 | | |
| 選抜結果連絡法 | 本人に郵送（連絡可能者は E-mail）で仮通知。後に理学部から正式通知を郵送。 | | |